

都市再生整備計画 事後評価シート

榎戸駅前周辺地区

令和元年12月

千葉県 八街市

様式2-1 評価結果のまとめ

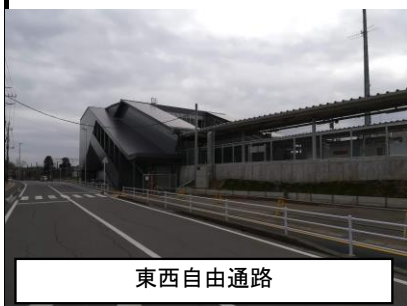
都道府県名	千葉県	市町村名	八街市	地区名	榎戸駅周辺地区			面積	106ha
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	令和元年9月	交付対象事業費	1,851百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業	道路(市道104号線)、道路(駅西口広場)、道路(駅東口駅前)、地域生活基盤施設(東西自由通路)、高質空間形成施設(公衆トイレ(バリアフリー対応))												
	提案事業	地域創造支援事業(防犯灯設置)、事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援)、まちづくり活動推進事業(防災防犯活動等支援)												
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	基幹事業	公衆トイレ(バリアフリー対応)	東西自由通路整備と別途計上していたが、東西自由通路と一体で整備するため、東西自由通路整備費に計上するため				影響なし							
	提案事業	まちづくり活動支援、防災防犯活動等支援	地元住民と協議したところ清掃用具、防犯パトロールに必要な備品等については、地元で対応するため、支援は不要との回答を受けた為、交付対象事業より削除した				影響なし							
	新たに追加した事業		基幹事業	-	-		-		-					
		提案事業	-	-		-		-						
	交付期間の変更		当初	平成26年～平成30年		変更		-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし		
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅周辺の交通利便性に関する満足度	%	22	H25	36	30	-	41	○	あり	評価値は目標値を上回っており、事業による効果が認められる。駅舎及び東西自由通路に併せて東西にロータリーを整備したことにより効果大きく反映されたと考えている。		
											なし			
	指標2	駅周辺の安全性に関する満足度	%	15	H25	25	30	-	50	○	あり	評価値は目標値を上回っており、事業による効果が認められる。LED化に伴う効果及び駅周辺の照明新設も効果に反映されたと考えている。		
なし														
指標3	まちづくり活動参加者数	人/年	1,516	H25	2,080	30	-	4,844	○	あり	評価値は目標値を上回っている。本事業に伴う地元説明会時にまちづくり活動に参加して欲しいとの啓蒙・要望活動が効果に反映されたと考えている。			
										なし				
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等				
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた										
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
住民参加プロセス	榎戸駅周辺整備促進協議会を主とする地元住民に対して事業内容の説明等を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた											
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						○					
持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

榎戸駅周辺地区(千葉県八街市)都市再生整備計画事業の成果概要

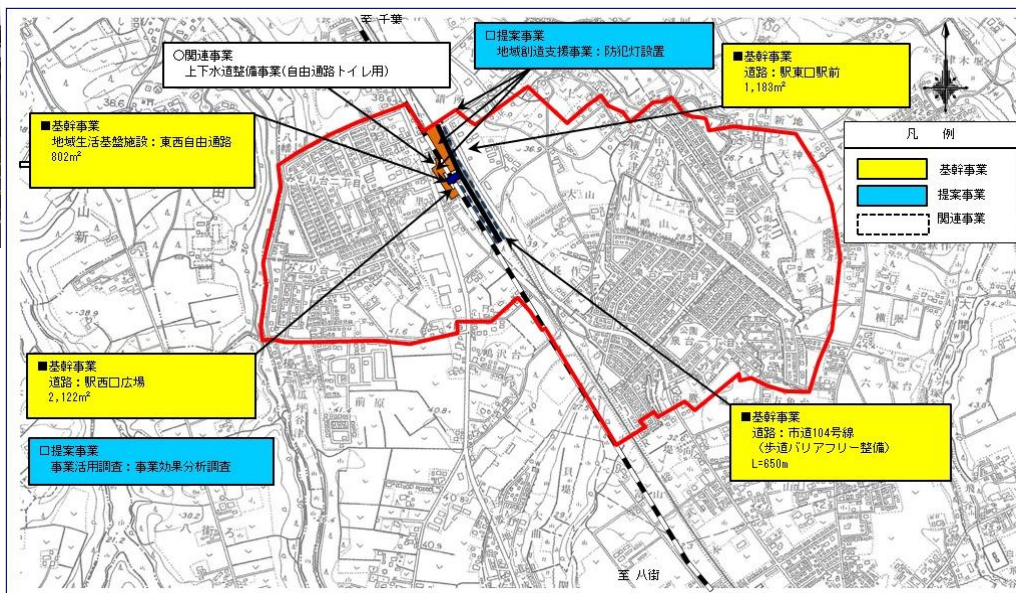
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:副次核にふさわしい拠点性の向上と安心・安全なまちづくりの推進 小目標①:駅及び駅前における交通利便性の向上を図る 小目標②:交通利便性の向上及び防犯施設の充実 小目標③:住民活動の促進	駅周辺の交通利便性に関する満足度	単位:%	22 H25	36 H30	41 R1
	駅周辺の安全性に関する満足度	単位:%	15 H25	25 H30	50 R1
	まちづくり活動参加者数	単位:人/年	1,516 H25	2,080 H30	4,844 R1



東西自由通路



駅西口駅前



市道104号線(歩道バリアフリー)



駅東口駅前

まちの課題の変化	<p>①東西自由通路及び東西駅前広場の整備により、駅周辺の渋滞が緩和された及び多少緩和されたとアンケートで回答された方が79%、交通利便性が良くなった及び多少良くなったと回答された方が76%となっており、事業の効果は認められる。今後は駐車車両や歩行者のマナー違反等が原因で交通に支障をきたす事が認められるため、利用者のマナー遵守が課題となっている。</p> <p>②東西駅前広場整備や防犯灯の設置、防犯灯LED化により駅周辺が明るくなった及び多少明るくなったと回答された方が87%、街路灯をLED化した事により明るくなったと回答された方が87%となっている。また駅周辺の安全性が向上したと感じる及び多少感じると回答された方が83%となっており事業の効果は認められる。今後は、適切な維持管理が課題となっている。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>①都市再生整備計画事業で建設・設置された施設や道路について、適切に維持・管理を行い長寿命化を図る。</p> <p>②照明等の適切な維持・管理を図り安全性の確保を図る。</p> <p>③まちづくり活動参加者について、60歳代以上の方に多く参加して頂いている状況であるため若年層からも多く参加して頂けるような啓発活動を検討する。</p>

都市再生整備計画

えのきどえきまえしゅうへん
榎戸駅前周辺地区

ちば 千葉県 やちまたし 八街市

平成30年2月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 駅及び駅前における交通利便性の向上を図る ・片側改札(西側のみ)及び駅前広場が未整備であることにより交通渋滞が発生している為、駅舎及び駅周辺の整備を図り交通渋滞の解消及び利便性の向上を図る。</p>	<p>【基幹事業】 道路事業: 駅西口広場・駅東口駅前 地域生活基盤施設: 東西自由通路</p>
<p>整備方針2 交通安全性の向上及び防犯施設の充実 ・駅舎橋上化整備に併せ、新規に駅前交通広場や車寄せ等を整備し、利用者の利便性の向上を図る。 ・駅周辺の道路整備(歩道のバリアフリー化)を行い、高齢者、障害者、車椅子利用者等の安全性を確保する。 ・東西間をつなぐ自由通路にはエレベーターや多機能公衆用トイレを設け、バリアフリー化を図る。 ・駅周辺道路に防犯灯を整備し、歩行者等の安全性を確保する。</p>	<p>【基幹事業】 道路事業: 市道104号線・駅西口広場・駅東口駅前 地域生活基盤施設: 東西自由通路 【提案事業】 地域創造支援事業: 防犯灯設置 【関連事業】 上下水道整備事業 自由通路トイレ用(社会資本総合整備計画 効果促進事業)</p>
<p>整備方針3 住民活動の促進 ・複戸駅周辺の近隣地区住民による住民活動の促進する。 ・住民参加の交流につながる機会の創出をする。</p>	<p>【基幹事業】 道路事業: 駅西口広場・駅東口駅前 地域生活基盤施設: 東西自由通路</p>
<p>その他</p>	

